

2016年度 後期		リフレクションペーパー						
学科名	情報学科							
科目名	オブジェクト指向分析設計							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期			
必修・選択の別	選択科目(ネットワークコース) 選択科目(ソフトウェアコース)							
担当者	高橋圭一							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・要求仕様からクラスを抽出できる。 ・関連、継承、委譲などの複数のオブジェクトに基づいた分析・設計・実装ができる。 ・UMLを用いて要求仕様を記述できる。 							
日程と内容	第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、システムの開発（1章） 第2回：オブジェクトとクラス（2章） 第3回：関係（3章） 第4回：継承（4章） 第5回：委譲（5章） 第6回：システムの表現（ユースケース）（6章） 第7回：機能の表現（7章） 第8回：外観の表現（8章） 第9回：補助的な表現（9章） 第10回：システムの拡張（10章） 第11回：抽象と具象（11章） 第12回：分析・設計・実装（12章） 第13回：分析・設計・実装（12章） 第14回：分析・設計・実装（12章） 第15回：まとめ 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	30%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・要求仕様からクラスを抽出できる。：達成した ・関連、継承、委譲などの複数のオブジェクトに基づいた分析・設計・実装ができる。：達成した ・UMLを用いて要求仕様を記述できる。：達成した 							
反省点	定期試験では出題箇所をあらかじめ講義内で指導するなど、学習の要点を明示し強調しているつもりだが、定期試験ではあまり知識の定着がみられず、結果的に30%の課題点で救済されることが多い。							
来年度の計画	今年度で開講終了となるため、来年度の計画はなし。							
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は7.5であった。昨年度が7.6であったのに対して0.1ポイント低下した。1010点満点で2や3をつける学生が3名ほどいた。残念ながら理由は書かれていないが、講義内容には大きな変更点はないことを考えると学生が変化していて講義が対応できていないことが原因かもしれない。							
履修登録者数	27名	定期試験受験者数	22名	合格者数	21名	合格率	95%	